

H26年度予算を可決!



2月20日～3月27日、第1回伊丹市議会定例会(通称:3月議会)が行われました。3月議会では、**次年度の予算案を審議**します。“4月からの新年度、伊丹市ではこのようにお金を使う予定です”という案を、じっくり審議するわけです。

さて、H26年度の予算案、注目ポイントは以下のようなところでした。

●公共施設の保全改修

国の有利な財源(補正予算債など)を活用して、**学校などの大規模改修**を行います。H25年度補正予算と合わせて総額60億円の大規模な取り組みです。

“そんなにハード整備にお金をかけるのか?”ということですが、これはハコモノ行政を復活させるわけではなく、**必要な整備を有利な財源を活用して前倒しする**もので、後世にツケを回さない方法の1つと捉えています。“そんなにお金があるの?”ということについては、**全額を国が面倒を見てくれる借金(補正予算債)を活用**します。国のお金も私たちの税金ではありますが、市としては、状況を十分に把握しながら、財政運営を上手に進めることは妥当だと考えます。

●中学校給食・子育て施設整備の充実

中学校給食を開始するに当たり、設計業務などに約3000万円、(仮称)児童発達支援センターの建設に約11億5000万円、私立保育所等の施設整備・開設助成に約3億6000万円を計上しています。

予算委員会では、分厚い予算書を1ページずつ審議していきます。相崎も種々質問を重ねました。そして最終結論として「財政に余裕があるとは言いがたいが、国の積極的な経済対策の動向を十分に踏まえ、補正予算債などの具体的なメニューを上手く活用した予算であることは一定評価する。**今後は伊丹オリジナルの魅力向上に努め、伊丹をより“住みたい街・住み続けたい街”に**」と意見を申し添えた上で、**H26年度予算に賛成**しました。

これからは、予算が的確に執行されているか随時確認するとともに、次年度以降の予算を検討していくこととなります。一時も気が抜けません!



予算書
(分厚い冊子です)

「おやこじてんしゃ勉強会」やりました!

3月13日、「**おやこじてんしゃ勉強会**」というものを行いました。“**子どものせ自転車**”のマナーなどを改めて学んでみようという勉強会です。

これはそもそも、“子ども乗せ自転車の事故を減らしたい!”と、ある関東の母親が立ち上がったのがきっかけ。母親が自転車マナーを学び、その母親が今度は講師になって勉強会を開く、という仕組みをつくり、全国に広げているのです。そして伊丹でも、「マナー講習会を受けたので、勉強会を開きたい」という母親が出現! 相崎はもともこの方と知り合いで、「ぜひ一緒にやりましょう!」となったのです。

勉強会ではまず、市役所の担当職員から、市の取り組み状況を説明。相崎としては知っている事柄なわけですが、分かりやすい説明で面白かったです。

次に自転車の安全利用について参加者で話し合い。貴重な意見がたくさん出ました。例えば...

●子どもの10ヶ月検診で自転車安全チラシを配るとGOOD

(そろそろ子どもを自転車に乗せる時期なので、保護者は大変関心が高い)

●阪急伊丹駅前に駐輪場があるのを知らなかった。PRしては?

(結婚して伊丹に来た方いわく「地上に駐輪場がないので、てっきり駐輪場がないと思っていた。出産後にママ友に地下にあることを教えてもらって驚いた」とのこと)

●交通ルールチラシを公共施設などにおくとGOOD

(手に取る機会があれば、関心も高まるはず。駐輪場でチラシを配布できればベスト)

自転車の利用について話し合うと、各自**何らかの気づき**があります。このような**機会を広げていきたい**ものです。

伊丹は自転車利用が多い街。同時に自転車事故も後を絶ちません。自転車関連事故率は兵庫県下ワースト1。市でも事態を憂慮し、自転車安全利用条例をつくるなど対策を講じています。**伊丹市での自転車事故を減少させる**べく、これからも取り組んでいきます。



オミヤゲの反射板
(私もさっそく
自転車に貼付!)